

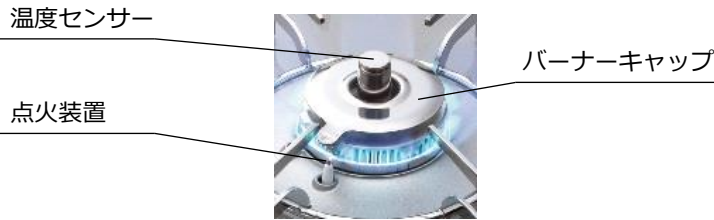
Q ガスコンロを点火するときに、手を離すと消えてしまうのはなぜ？

A 消える要因は、電池の消耗の可能性が大きいといえます。  
乾電池が消耗してくると、安心・安全機能が作動しなくなるので、安全のため手を離すと消火するようになります。

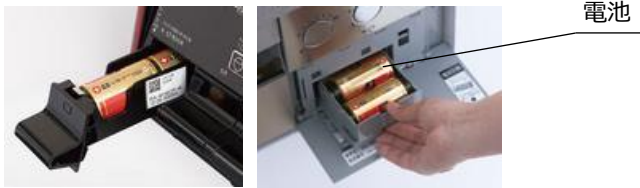
解説

多くのガスコンロは、電池で主に次の装置を動かしています。

- ・ 点火装置：パチパチと点火のための火花を出す装置
- ・ 温度センサー：天ぷら火災等を防止するため、高温になるとガスを止めるためのセンサー



電池の残量が少なくなると、これらの装置が働かなくなることがあります。  
そのような際には、まずは電池の交換をお奨めします。



一口メモ 点火しない、点火しづらいなども同様のことが考えられます。  
新品のアルカリ乾電池での交換をしてみてください。

点火しない、点火しづらい場合に、他に考えられる要因は次の通りです。

- ・ バーナーキャップの目詰まりや誤セット
- ・ 立ち消え安全装置のセンサー部が汚れ

まずは、お手入れしていただき、それでも解決しない場合は販売店またはメーカーにお問い合わせください。

